

□ 要請番号 (JL54823A17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	I102 障害児・者支援	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2024/1・2024/2・ 2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育科学技術省

2) 配属機関名（日本語）

ムワンガ聴覚障害支援学校

3) 任地（キリマンジャロ州ムワンガ） JICA事務所の所在地（ダルエスサラーム市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約7.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は教会が所有・運営する学校であるが、1981年にタンザニア政府と協定を締結し、教員は政府より配属されている。聴覚障害のある児童を対象に小学校教育(1～7年生:日本の小学校1年から中学校1年生にあたる)を行っている。生徒数は107名(男子54名、女子53名)で年齢は6歳から18歳、教師数は9名(校長含む)。児童はタンザニア全土から来ており、寮生活を送っている。タンザニアでは、障害を持つ児童が7年生以降(中学校)に進学することは困難であるため、配属先では普通教育のほか、裁縫や縫製などの実務的な技術指導もしている。2020年3月までJICA海外協力隊員(障害児・者支援)が活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

特別支援学級や学校はタンザニア各地に存在するが、全体的に専門知識と経験を持った教員が不足しており、生徒たちへの適切なケアとサポートが不足しているのが現状である。タンザニアの小学校教育は7年制であるが、配属先では1、3、5学年はA、Bに分け同じ学年を2年間学習することになっており、1学年1クラスで合計10クラスを校長含め9名の教師が教えている。このため、今般、生徒への充実したケアやサポート、教育効果の向上を図るため海外協力隊の派遣が要望された。生徒に対する授業の他、学校にあるパソコンや教材等の有効活用、効果的な視覚教材の作成、同僚教師や生徒へのPCの基本操作の指導等の活動が期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

同僚教師と協力して、以下の活動を行う。

1.聴覚障害の生徒を対象に、担当学年の授業全般を行う。(担当学年、教科については赴任後に相談)

2.現地で入手可能なものを利用した視覚教材の考案、作成。

3.同僚教師や生徒を対象に、パソコンの基本的な操作(Word、Excel等)を指導する。

4.生徒のニーズに合ったイベント(スポーツ、日本文化紹介等)の企画、実施。

*配属先では、主にスワヒリ語手話、英語手話を使っている。(赴任後に習得可能)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教科書、パソコン、教室等

4) 配属先同僚及び活動対象者

学校長:40代、女性、経験13年

同僚教師8名:30代～50代、経験7年～29年

活動対象者:生徒107名、同僚教員

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スワヒリ語	スワヒリ語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（特別支援学校教諭）	[学歴]：（大卒） 備考：教員として活動する上で必要
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（指導経験）2年以上 備考：生徒を指導するため
[参考情報]：	
・手話経験があるとよい	

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（15～30℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】

タンザニアの赴任後の研修でスワヒリ語を学習する予定。